

令和8年（2026）3月17日（火）

## 第4回出雲市新たな観光財源検討委員会

### 1. 宿泊事業者説明会の実施状況について

第3回出雲市新たな観光財源検討委員会以降開催した市内宿泊事業者向けの新たな観光財源に係る説明会の実施状況についてご報告します。

## (1)説明会における説明内容について

第1回（7月）～第3回（11月）出雲市新たな観光財源検討委員会における新たな観光財源の検討状況について説明しました。  
取り上げた内容については以下のとおりです。

- 出雲市の観光の現状と更なる観光振興の必要性
- 更なる観光振興のための財政需要額
- 候補の筆頭となる宿泊税の他市町村での導入例の紹介

## (2)開催概要

※No.5・7は対面とオンラインの併用、一部事業者は複数回参加

No.	日時	会場	対象者	参加
1	1月15日(木) 10時30分～12時00分	湖静荘	湯の川温泉旅館組合	4社
2	1月20日(火) 11時00分～12時00分	ますや旅館	大社旅館組合	6社
3	1月21日(水) 10時00分～11時30分	ぐるめ幸洋	日御碕民宿組合	7社
4	1月23日(金) 12時00分～14時00分	出雲ロイヤルホテル	出雲ホテル連絡協議会	8社
5	1月27日(火) 14時00分～15時30分	出雲科学館	全体	26社
6	1月28日(水) 14時00分～15時30分	平田コミュニティセンター	全体	1社
7	2月2日(水) 10時30分～12時00分	出雲市役所	全体	12社
8	2月5日(木) 14時00分～15時30分	大社行政センター	全体	4社

◎その他、都合のつかなかった4社に個別訪問して説明・意見聴取。

### (3)参加申込数・参加率

案内送付先 1 2 3 施設

(【島根県】旅館業施設一覧 (R7.1月末時点) 及び【島根県】住宅宿泊事業 (民泊) 情報  
(2025年11月30日現在) から休業中と思われる施設等を除く)

参加数 6 9 施設

参加率 5 6 . 1 %

※ 施設収容人数ベースの参加率 8 8 . 4 %

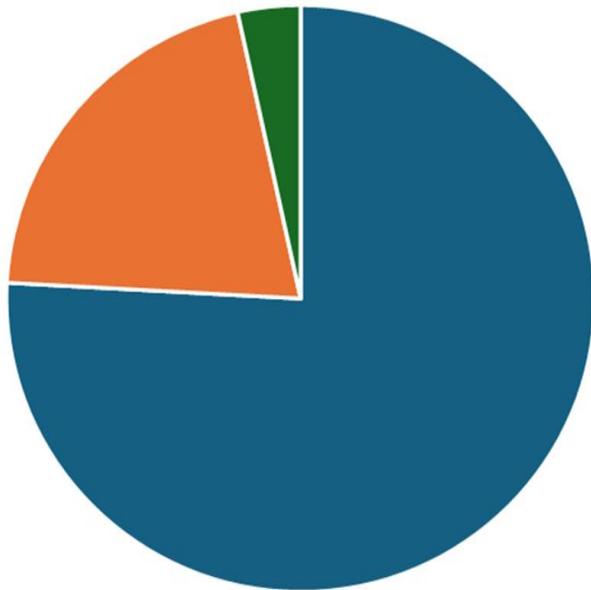
(5,211人/5,892人。収容人数を把握していない一部施設を除く。)

このほか、欠席するものの市が決定する方針に協力する意向を示された施設が10施設

## (4)意見聴取結果

当日聞き取った意見・感想、アンケート記載の内容

(アンケート結果) Q 新たな観光財源導入の必要性について



■ 1 ■ 2 ■ 3

	回答数	回答割合
1 必要性を理解できた	22	75.9%
2 一部わからない点がある	6	20.7%
3 理解できない	1	3.4%
全体	29	100%

※ 2・3と回答された方の不明点は、「使い道が分からない」「使途について、より具体的に知りたい」(自由記述による回答)など、ほとんどが使途に関するものでした。

## (4)意見聴取結果

### ★観光振興の必要性について

- ・観光振興の必要性及び財源確保の必要性そのものに対する反対意見はみられなかった。

### ★財源確保手段としての「宿泊税」について

- ・財源を確保する手段の候補として「宿泊税」が挙がること自体に対する異論はほとんどなかった。
- ・ただし、宿泊税のみを財源とすることについては、観光振興の受益は宿泊者・宿泊事業者に限られないとして、負担の公平性に関する懸念が示された。
- ・駐車場有料化、料金改定を先行して進めるべきだとの意見もあった。

## (4)意見聴取結果

### ★新たな観光財源の用途について

- ・ 宿泊者、宿泊事業者の理解を得るためには、直接的な効果を明確に示して欲しいとの意見があった。
- ・ 防災用品の整備への補助など具体的な要望もあった。
- ・ 特定地域のみ利益とならないよう配慮を求める声が複数あった。
- ・ 二次交通の改善を求める意見が複数あった。
- ・ お土産物店、夜の飲食店等、観光客が消費できるポイントの少ない観光地についてはそのような店舗を誘致等すべきでないかとの意見があった。
- ・ 一部ではインフラ整備への活用を求める声もあった。

### ★納税義務者について

- ・ 一部、納税義務者を宿泊者ではなく、宿泊事業者にすることができれば事務負担が減ると思うとの意見があった。